

1. 青少年教育事業「小糸子どもデイキャンプ」実施報告

(1) 実施日 令和7年7月5日(土)

(2) 対象・参加者数

- ・参加対象：小糸小 4年生～6年生
周東中 1年生

※ボランティアリーダーとして

- ・参加者数：32名（内訳：3年生3名、4～6年生28名、中学生1名）
- ・小糸地区青少年相談員：9名

参加者数	4年	5年	6年	合計
男子	4	3	1	8
女子	5	7	8	20
計	9	10	9	28

(3) 会場 習志野市立鹿野山少年自然の家、柿山田オートキャンプガーデン

(4) 活動内容

【6/21】事前研修(旗づくり、カレー作りの練習、虫よけオニヤンマ工作 等)

【7/5】飯盒炊飯・カレー作り、川遊び



(5) 参加者の感想（感想文より一部紹介）

- ・相談員さんのみんなのおかげでさいこうのデイキャンプになった。【4年生】
- ・ふだん行けないところに行って楽しかったし、また行きたいと思いました。
すごい楽しかったです。【4年生】
- ・川遊びで会長が遊んでくれて楽しかった。【5年生】
- ・わたしは6年生で最後だけど、中学生になっても来ます！【6年生】

(6) 成果と課題（次年度に向けて）

《成果》

任期替えのため、14名中8名の青少年相談員が新規となった。キャンプ引率未経験者が多い点が懸念されたが、日帰りにしたこと、鹿野山少年自然の家の協力を仰いだこと、近場で川遊びをしたこと等、無理なく活動できる内容とした。こうした工夫により、子どもも青少年相談員もキャンプを楽しむことができ、充実した事業となった。

《課題・次年度に向けて》

子ども達や青少年相談員から「次年度は宿泊でキャンプを実施したい」という要望が出ている。参加者数が増加傾向にあり、子ども達も楽しみにしていることから、両者の要望に沿えるよう、青少年相談員の活動を支援し、子どもの体験活動の機会づくりに努めていく。

2. 利用者層の拡大・サークル活動支援事業①「Let's Play はじめてのあみぐるみ」

(1) 目的・内容

子育て経験者が持っている様々な特技を教え合うことで、参加する側と教える側が互いにチャレンジし、仲間づくりや自分の可能性を広げるきっかけとする。

(2) 実施日：6／3、6／10、6／17

いずれも火曜日午前9時半～12時

(3) 会 場：小糸公民館 講堂

(4) 参加者：延べ24名

(5) 成果

- ・プレイルーム利用者からの声を受けて実現した企画で参加者からは高い満足度が得られた。
- ・事業終了後、サークル化を希望する声があがり、会員18名の新規サークルが立ち上がった。多くが子連れでの参加を予定しており、会員が交代で子どもを見ながら活動するサークルとして、9月からのスタートを予定している。



(6) 今後へ向けて

高齢化や会員数の減少によりサークル数は減少傾向にあるが、公民館の利用活性化や地域コミュニティの醸成に向けて、今後も多様な分野の事業に取り組んでいきたい。

3. 利用者層の拡大・サークル活動支援事業②「インドヨガ体験教室」

(1) 目的・内容

サークルとの共催事業に取り組むことで、会員数の増加、サークル活動活性化の促進を図る。

(2) 実施日：6／20、6／27、7／4

いずれも火曜日午前10時～11時

(3) 会 場：小糸公民館 第2会議室、講堂

(4) 参加者：延べ68名（男女比1：7）

(5) 成果

- ・会員数の減少・高齢化に悩むサークルにとって、新規会員の募集は運営上難しいことが多い。この点を公民館が共催者として支援したことで、地区内外・年齢・男女問わず、30名を超える申込者がいた。
- ・参加申込者31名の内10名がインドヨガサークルに新規入会（男性の参加有り）し、サークル会員の増加という目的を達成することができた。併せて、サークル会員の平均年齢の若返りを図ることができた。



(6) 今後へ向けて

サークル活動の活性化を促進するために、サークル団体と公民館での共催実施を今後も計画し、様々なサークルの活動を支援していく。

1 青少年教育事業「清和キッズらぼ」実施報告

(1) 目的

清和地区では人口減少・少子化を背景に、子ども達が集団で遊ぶことができない／近所に家がないため帰宅後に友だちと遊ぶ機会がないといった課題に対し、令和6年度まで早帰りの日の放課後に子ども教室「遊びの王国」を実施してきた。SCP創り隊による放課後の見守り活動が活発化したため、令和7年度からは、夏休み等長期休業中の子どもたちの体験活動を支援することを目的に「清和キッズらぼ」を以下の2点に留意しながら実施する。



①清和の人やモノ、環境などの資源を活用した活動

②子どもたちが普段できない活動

(2) 実施日・内容：7月24日（木）9時30分～13時30分

「文化祭に出店してみよう！」をテーマに商品づくり①/冷やしたぬきうどん作りを実施。(今後、8/25、11/1、文化祭当日、12月と継続的に活動予定)

(3) 会場：清和地域拠点複合施設おらがわ 音楽研修室・調理室

(4) 参加者：9名 運営協力者2名 計11名

(5) 成果

- ・こちらで準備していたものだけでなく、子どもたちが創意工夫し、新しい発想で主体的に商品づくりに関わることができた。

(6) 課題・今後へ向けて

- ・夏休み期間中であること、内容の難易度が多少高いことが影響してか、参加者は多くなかった。今年度の状況を踏まえ、来年度以降の実施時期や内容を検討していきたい。
- ・文化祭出店に向けて、中学生の関わりや大人のサポートなど関係者の広がりが見られるよう働きかけをしていきたい。



2 青少年教育事業 「子どもデイキャンプ」

(1) 目的・内容

地域の魅力を活かした体験を共有し、地域の異年齢交流を進める。また、体験をとおり、自らの力で生き生きと遊ぶ力を養うと共に、仲間と協力することの大切さを学ぶ機会とする。 ※清和地区青少年相談員と共催

(2) 実施日：8月10日（日）

(3) 会場：清和地域拠点複合施設 おらがわ

(4) 申込者：30名（子ども25名、大人5名）※8月5日現在

※成果・課題等については、当日配布資料でお伝えします。

第53回清和地区文化祭 開催要項（案）

（１）開催趣旨

地域団体や地域住民と共に、学習・文化活動の発表、交流の場づくりを行い、地域団体等の活動の発展と活力ある地域づくりを促進するための祭典とする。

（２）開催日

令和7年11月8日（土） 10時から16時
11月9日（日） 9時30分から14時

（３）組織体制

主催：君津市清和公民館

運営：第53回清和地区文化祭実行委員会

実行委員長：_____（清和地区公民館運営審議会より選出）

副委員長：_____（清和地区自治会連絡協議会より選出）

副委員長：_____（公民館利用サークル・団体より選出）

（４）会場

清和地域拠点複合施設「おらがわ」

（５）テーマ

「広げよう みんなの芸術 清和の伝統」

※令和5年度、新施設での開催を機に清和小、周東中、利用サークルにテーマ案の募集を行い決定したもの。

(6) 行事企画概要

	主な内容	日程	会場
開 会 行 事	・清和こども園園児出演 ※内容調整中	8日(土) 午前10時～	体育館
青 少 年 健 全 表 彰 式	標語及びフォトコンテストの表彰式	8日(土) 午前中	体育館
芸 能 部 門 表 演	・保育園、小中学校の発表 ・サークル団体の発表 ・個人の発表	8日(土) 午前 9日(日) 午前	体育館
展 示 部 門	サークルの作品、保育園・小中学生の作品、各機関活動紹介を展示	8日(土) 10時～16時 9日(日) 9時30分～14時	各部屋等
物 販 部 門	■飲食物 ■物販 ・フリマ、サークル活動で作った作品の販売等		多目的広場 (グラウンド)
催 し 物 部 門	・子ども向け催し、体験会など		各部屋等
そ の 他	■特別企画 ①おらがステージ(仮) ②小学生による特別出店	①②共に9日(日)	①体育館 ②多目的広場
	■その他 ・スタンプラリー ・20歳のつどい実行委員会による出店 ・3Dプリンタ作品展示もしくは実演 ・青少年相談員によるかるた大会		

第54回小糸地区文化祭 開催要項

1. 開催趣旨

- ・小糸地区を拠点とする学習・文化活動の発表、多世代交流の場づくり、地域産業活性化への一助を目指し、「第54回小糸地区文化祭」を開催する。
- ・開催にあたり、地域住民（一般成人、子ども、公民館利用サークル、文化祭参加有志団体）の作品展示や活動成果の発表、関係機関・団体の活動紹介等を行う。

2. 事業名称

第54回小糸地区文化祭

3. 組織体制

主 催：小糸公民館

運営主体：第54回小糸地区文化祭実行委員会

実行委員長 小川 和子 氏（小糸清和地区公民館運営審議会委員）

副実行委員長 宮脇 均 氏（小糸地区自治会連絡協議会）

※文化祭実行委員会構成メンバー

- ・小糸公民館利用サークル・団体、個人
- ・小糸公民館からの募集に応じ、作品展示、模擬店部門参加・出店、音楽・芸能の集いに出演される方々（※上記の開催趣旨に準ずる）

4. 開催日時

令和7年10月25日（土）午前9時～午後4時

10月26日（日）午前9時～午後2時30分

5. 会場

小糸公民館（※場合によっては生きがい支援センターの使用も検討）

6. テーマ

「集う楽しみ、学ぶ喜び、つながる小糸」

7. 取り組み内容、特別企画

	内容、出品・出演者等	日程・会場	備考
展 示 作 品	サークル・利用団体、保育園・小中学校、個人の作品（※開催趣旨に準ずる個人）	両日・館内	7/17（木）～ 一般作品募集開始

音楽・芸能の集い	音楽の集い・芸能の集い 第1部 小糸小学校、公民館利用サークル	25日(土) 午前中 講堂	7/17(木)～ 一般出演者募集開始
	音楽の集い・芸能の集い 第2部 周東中学校、公民館利用サークル、一般 出演者(※開催趣旨に準ずる個人)	26日(日) 講堂	
物販・バザー・出店	婦人会バザー 小糸婦人会	25日(土) 午前中 講堂	7/17(木)～ 一般出店者募集開始
	物販(食品・手工芸品)、バザー 公民館利用サークル・団体、君津高校上 総キャンパス、出店者募集で申込のあつ た団体 等	両日 屋外 販売日は団体の都 合に応じて調整	
育成青少年健全表彰式	標語及びフォトコンテストの表彰式 ・小糸小学校入賞者 ・周東中学校入賞者	25日(土) 午前中 講堂	
企画 特別	戦後80年に合わせた小糸公民館の壁 画に関する展示	両日ロビー	
その他	子ども文化祭実行委員会による企画	両日プレイルーム	
	公民館利用サークルによる体験	両日 体験内容に応じた 部屋	
	かるた大会【青少年相談員主催】	25日(土) 午後 講堂	
	中学生によるカフェ運営	日程は調整中 屋外テント	
	20歳のつどい実行委員会による模擬店	日程は調整中 屋外テント	

※上記に加え、文化祭に参加しない小糸公民館利用サークルに文化祭運営の支援(全体作業、当日の受付など)を仰ぐ。

8. 特別企画

※後掲「令和7年度重点取り組み分野・事業について」と同内容のため、ここでは割愛。

1. 背景・趣旨

令和7年度は戦後80年を迎える年となる。小糸公民館には、平和への願いを込めて作られたタイル壁画があるが、世代が若くなるにつれ、謂れや由来を知らない方も多い。そこで、戦後80年の節目に合わせた今年、タイル壁画や小糸地区の史跡を題材とする事業を実施することで、平和や戦争について理解を深める一助とする。



小糸公民館タイル壁画（縦 2.6m×横 6.7m）

2. 取り組み内容

（1）第54回小糸地区文化祭特別企画

【期 間】10/25（土）午前9時～午後4時

10/26（日）午前9時～午後2時30分 文化祭開催期間中

【内 容】①展示

- ・タイル壁画に関する紹介（謂れ・背景、作者の紹介等）
- ・壁画関係者のコメント（原稿、新聞記事）
- ・学童疎開受け入れに関する資料
- ・戦争、平和に関する寄稿文（公民館だより、婦人会報誌）等

②催し

- ・壁画や展示品のギャラリートーク
- ・『小糸の里の青い空』の朗読会 等

【会場】小糸公民館 ロビー、壁画前

（2）教育講演会

【実施日】12/10（水）午後

【内 容】小糸地区で学童疎開を受け入れた当時の話、小糸公民館の壁画に関する講話など。

【講演者】「平和を語る会」より2名

【対 象】周東中学校1～3年生、一般市民

【会 場】周東中学校 体育館

【その他】主催は小糸地区青少年健全育成協議会、清和青少年健全育成連絡協議会による

（3）こいとまちあるき ※実施日、11月以降で調整中

【内 容】学童疎開の受け入れや壁画に関する講話を聞き、実際に関連する場所（学童疎開児童を受け入れたお寺、史跡）を歩いて巡る。

【対 象】一般市民15～20名程度

3. その他

戦後80年にちなみ、「(仮) 第二次世界大戦下の君津」をテーマに、君津中央公民館、八重原公民館、周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館の5館で連携事業を計画中。その一部として、小糸公民館では上記3事業に取り組む。

今後、5館共同で君津市内の戦争遺産（史跡、証言）をまとめた展示を作り、各地区の文化祭等で巡回展示を行った後、記録集を作成する予定。

令和7年度重点取組分野の事業について【清和公民館】

【地域活性化・にぎわい創出】

1 課題解決学習支援事業 「じぶん時間を楽しむ講座」

(1) 目的・内容

地域間交流や多世代交流を図る事業として、身近な内容を題材に趣味・教養講座を実施する。

今年度は、そば打ちをテーマとし、地域内外の人の交流を目指すとともに、「おらがわ」の周知を図る。また、講座終了後のサークル化を視野に入れながら事業を展開する。

(2) 実施日：6月29日（日）/7月13日（日）

(3) 会場：清和地域拠点複合施設おらがわ

(4) 参加者：19名

(5) 成果

- ・1回目に市販の粉、2回目に清和で栽培した粉を使い、味を比較し風味の良さを感じてもらい清和の魅力を実感してもらうことができた。
- ・参加者の年齢層が比較的若く、講座への参加について初めて参加と回答した方がほとんどであり、参加者層の拡大を図ることができた。



(6) 課題・今後へ向けて

- ・そば打ちセットは各テーブルに1セットずつしかないため、グループでの実践となり、1人ですべての過程を体験してみたかったという声が複数あった。サークル化時も適正人数が何名程度なのか、協議しながら調整していきたい。
- ・参加者募集時と講座終了時にサークル化に関心がある方を募り、10名以上の方が集まったため、体験せいわ学のそば講座でも呼びかけをした上で、1月～3月に特別回を実施し、サークル化を目指す。

【高齢者のウェルビーイング】

1 課題解決学習支援事業「高齢者いきがい支援事業」

(1) 目的・内容

- ・健康に関する講座や軽スポーツなどを通じて張りのある生活を送り参加者同士の交流を図ることで生きがいを持ち健康増進を目指し、ウェルビーイングの向上を目指す。
- ・講座や多世代交流事業にサロンの要素を加え交流の場を提供する。
- ・公民館へ来られない人も、居住区近くの自治会館等へ集まり、交流を図る機会の提供として出張型の事業を各種団体と協力して実施する。

(2) 実施日：大人の学校おらがわサロン（フレイル予防講座）

①7月30日（水）/②8月20日（水）

(3) 会場：清和地域拠点複合施設おらがわ 音楽研修室

(4) 参加者：19名

(5) 成果

- ・包括連携を行っている明治安田生命のプログラムを活用し、高齢者支援課のフレイル予防講座を実施した。座学だけでなく、血管年齢検査等もあり

令和7年度重点取組分野の事業について【清和公民館】

参加型の講座に積極的に受講している様子うかがえた。

(6) 課題・今後へ向けて

- ・公民館での講座以外に、コミュニティ清和と共催で地域に出向いて行う「大人の学校 出前サロン」のご案内を行った。利用する方のイメージ共有を図り、活用できる事業としての周知を継続する。



2 課題解決学習推進事業「おやこびと広場 たき火交流会」

(1) 目的・内容

- ・親子教室の昨年度の状況から、子育て世代のみを対象とせず、多世代交流をテーマとした新規事業として試行的に実施する。
今年度は、たき火を囲みながら地域の様々な年代との交流を行い、地域の人間関係の醸成を図る。

(2) 実施日：6月28日（土）※全3回を予定

(3) 会場：旧公民館テニスコート

(4) 参加者：13名

(5) 成果

- ・参加者はやや少なかったが、子育て世代から高齢者世代まで幅広い年齢層のほか、移住してきたばかりのご夫婦やサークルの会員の方など多様な方の参加を得ることができた
- ・食材を交換し合ったり、一緒に作業をしたりする中で、自然な形で地域のことや、自身の生活、活動に関する様々な情報を交換し合うことができた。



(6) 課題・今後へ向けて

- ・参加の敷居を低くするため、試行的に申込を必須とはしなかったため、参加状況が読めず、参加の呼びかけや準備などがしづらかったため、次回は申込制とし、積極的に参加を呼び掛けていきたい。

3 その他 「みんなの秋まつり～清和の夕べ～」

(1) 目的・内容

清和地区で昔懐かしい盆踊り大会を復活させ、住民が懐かしさを感じ、元気になる秋のイベントを開催する。

(主催：みんなの秋まつり～清和の夕べ～実行委員会)

(共催：清和地域市民センター/清和公民館)

(2) 実施日：9月13日（土）16時～19時

6/24 準備会

7/16、7/31、8/31 実行委員会/部門別会議

8/17 櫓準備

8/22、9/4、9/11 盆踊り練習

9/4 草刈り

(3) 会場：清和地域拠点複合施設おらがわ・グラウンド

青少年教育事業 「子どもデイキャンプ」

(1) 目的

地域の魅力を活かした体験を共有し、地域の異年齢交流を進める。また、体験をとおり、自らの力で生き生きと遊ぶ力を養うと共に、仲間と協力することの大切さを学ぶ機会とする。 ※清和地区青少年相談員と共催

(2) 実施日：8月10日（日）

内容：流しそうめん、竹を使った楽器作り、カレー作り、花火

(3) 会場：清和地域拠点複合施設 おらがわ

(4) 参加者：24名（子ども20名、大人4名）

※大人4名は未就学児の付き添いとして参加

(5) 成果

・子どもデイキャンプの体験を通じて、異年齢の交流が着実に進み、参加した子どもたちが仲間と協力しながら活動することの大切さを学ぶ機会が得られた。また、地域資源を活用したプログラムによって地域理解と探究心を深めることができた。

・暑さと雨天時の対応を考えた場所、内容を設定していたため、当日風雨があったが概ね計画通りの活動ができ、青少年相談員の経験値ともなった。

(6) 課題・今後へ向けて

・近年の気温の高さに対する対策として、活動内容、場所、開催時期について、今後もより良いあり方を相談員と検討していきたい。

・青少年相談員の主体性を大切にしながら、少なくなっていく地域の子どもたちとの関わりを共に模索していきたい。



公民館の開館時間、使用料金等について（公民館運営審議会資料）

令和 7 年 8 月
生涯学習文化課

（１）概要

社会情勢の変化と経費面の観点から、公民館の開館時間の短縮（夜間閉館時間の見直し）、休館日の新設が検討課題となっている。併せて、使用者による使用料金の一部負担なども課題となっている。他市の状況も勘案しながら、今後継続的に公民館を運営していくための方法について、社会教育委員会、公民館運営審議会とも情報共有しながら具体的な検討を進めたい。

（２）見直し案

①開館時間の短縮（閉館時間の見直し）

- A 案）月～土曜日の閉館時間を 22 時から 21 時にする
- B 案）月～土曜日の閉館時間を 22 時から 21 時 30 分にする
- C 案）A 案、B 案よりさらに開館時間を短縮する案

理由：21 時以降の使用件数の状況によるもの

（21：30、22：00 までに終了する件数は全体の約 4.5%（日曜日を除く））

経費の節減

（21 時閉館の場合人件費削減額は年間約 300 万円（概数）。ほか光熱水費等）
近隣市との使用時間均等化

課題：使用者への影響（21 時以降も少なからず利用はあること）

②休館日の新設（現在は祝日、年末年始のみ）

- A 案）月曜日を休館

理由：他市の状況に併せて対応。

- B 案）火曜日を休館

理由：平日の使用状況調査で利用がわずかに少ないため。

文化ホールなど他施設も火曜日休館のため

- C 案）休館日を当面設けず、現状の形態で実施していく

理由：閉館時間見直しを先行して進めるため。使用についての大幅な改変による混乱を防ぐ。

参考

具体的なイメージ：他市と同様に休館日も職員は勤務日とする。

理由：事務効率化（例：休館日に会議実施及び多くの事務を処理する）による

事業の充実、人件費・光熱水費等経費の削減

課題：開館日減少による使用者への影響

③一部料金の使用者負担

A 案) 光熱水費等の実費分を一部使用者負担とする

B 案) 光熱水費以外も含め費用を一部使用者負担とする

理由：経済情勢、市民の負担感の標準化、エネルギー等の節減

課題：使用者への影響

参考（近隣市等の開館時間、休館日、料金等の概要）

	開館時間	休館日	部屋料金
君津市公民館	9時から22時（日曜日は17時）	祝日 ・年末年始	無料（目的外使用有料）
木更津市 （※現行公民館のもの）	9時から21時30分	月曜日・祝日 ・年末年始	1時間：150円～1,000円 （減免あり）
富津市公民館	9時から17時 （特例あり）	月曜日・祝日 ・年末年始	1時間：100円～3,450円 （減免あり）
袖ヶ浦市 （※交流センター）	9時から17時（特例で21時、 6/1～9/30は21時30分）	年末年始	1時間：230円～8,620円 （減免あり）
千葉市公民館	9時から21時	年末年始	無料（市外者使用有料）

部屋料金については加算の場合あり。設備使用料等は別途。

（3）今後の予定（公民館運営審議会関係） *最短で協議、決定が進む場合

8月～9月 公運審で意見聴取

*本資料を元に公運審委員より意見聴取

公民館使用者アンケート実施

10月～ アンケート結果について報告

社会教育委員会議、公民館運営審議会等と継続的に方向性協議

12月 社会教育委員会議、公民館運営審議会、開館時間について

合意を目指しつつ、使用料金については継続的に協議を進める。

〈開館時間について〉

1月～3月 条例改正、規則改正事務等

3月 条例・規則改正（予約の関係から実施は6か月後の施行とする）

10月 施行